

30. 小児脳腫瘍

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり ×: なし

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日							各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法				ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容				
					体外照射	定位放射線療法	DMRT	小児頭治療			治療内容	治療実績	医師の専門分野		
1 脳神経外科	10	3	状況	○	○	○	○	×	×	小児科とも連携しながら、脳腫瘍の種類および発生部位により、手術、化学療法、放射線療法を組み合わせ治療を行っています。	ア	診療科・部署の紹介 http://www.kitano-hp.or.jp/section/nosinkei#index-contents	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	あり	あり	あり	なし	なし		イ	治療について http://www.kitano-hp.or.jp/section/nosinkei/cure#index-contents	掲載あり	掲載なし	掲載なし
2 小児科	27	3	状況	○	○	○	○	×	×	複数の科が協力して総合的な治療を行っています。一人ひとりの患者さんの将来のために全力をつくすよう心がけています。	ア	診療科・部署の紹介 http://www.kitano-hp.or.jp/section/shoni#index-contents	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	あり	なし	あり	なし	なし		イ	治療について http://www.kitano-hp.or.jp/section/shoni/cure#index-contents	掲載あり	掲載なし	掲載あり
3 放射線科	8	2	状況	×	×	○	○	×	×	放射線治療とは、臓器を守りながら「がん細胞」に放射線を照射し、縮小させる治療法のことです。様々な療法がありますが、各診療科医師と協同してその時に最適な放射線治療を行うようにしております。	ア	診療科・部署の紹介 http://www.kitano-hp.or.jp/section/shoni/index.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	なし	なし	あり	あり	なし	なし		イ	http://			
4			状況								ア	http://			
			実績								イ	http://			
5			状況								ア	http://			
			実績								イ	http://			

例: 神経膠腫、頭蓋咽頭腫、髄芽腫、胚細胞腫 昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	神経膠腫、頭蓋咽頭腫、髄芽腫、胚細胞腫
	胚細胞腫、星細胞腫、非ジャーミノーマ胚細胞腫、睾丸卵黄嚢腫、三叉神経神経線維腫、頭蓋咽頭腫、ランゲルハンス細胞組織球症